

平成27年度 日高地区芸術文化鑑賞事業

フラメンコ公演in日高

と き 11月17日(火)
18時開場 / 18時45分開演

(公演時間は1時間30分を予定しています)

ところ 日高町民センター集会室

(北海道沙流郡日高町松風町1丁目116-2)

入場料 1,000円(幼児~高校生は無料・入場整理券有)

(入場券・入場整理券は、下記事務局・川上薬局・金澤鐵工商事・加藤書店・すばる接骨院でお取扱しています)

sevillanas (セビジャーナス) Alegrias (アレグリアス) Tango de malaga (タンゴデマラガ) A mi manera (アミ マネラ) =マイウエイ moriendo cafe (モリエンドカフェ) =コーヒールンバ volare (ボラーレ) 星のフラメンコなど ※曲目は変更になることがあります。

踊り手(バイラオーラ) 星野愛加(ほしの あいか)さん

東京都出身。10代から女優として活動。数々の舞台、ドラマに出演。フラメンコのプロになりたいと芸能界を引退。2003年草野櫻子フラメンコアカデミア入門、舞踊を草野櫻子に師事、リズムを原田和彦に師事、クラシックバレエを橋浦勇に師事。2004年同舞踊団員に抜擢される。数々の公演、イベントに出演。また同アカデミアで講師を務める。ベレン・マジヤ、ペパ・マルティネス、アドリアン・ガリアなどに師事。2006年より3ヶ月単位での渡西を繰り返す。スペイン生活をしながら多くのアルティスタやヒターノ(ジプシー)と交流しフラメンコに触れ、フラメンコ漬けの日々を送る。現在、ライブ活動、企業イベントに出演、講師活動も行う。TRXコアトレーニング講師としても活躍中。

三菱4KテレビCM出演。オペラ「カルメン」カルメン役で出演。



フラメンコ歌手(カンタオール) 内田みつる(うちだ みつる)さん

札幌市出身。2003年 フラメンコギターに出会い、フラメンコギターを多くのギタリストに学ぶ中、歌の奥深さ、魅力を知り、歌を始める。2006年レジェンダカンテアカデミーに所属。フラメンコの歌を小森皓平に師事。2009年よりカンタオールとしてプロ活動を開始。スペインで活躍中のアルティスタ、ディエゴ・カラスコ、ホセ・エルナンデスにフラメンコのリズムの観点から歌の指導を仰ぐ。現在、ライブ活動、企業イベントに出演、講師活動も行う。NHKドラマ「眠れる森の美女」に歌手として出演。

フラメンコギター 増井建一(ますい けんいち)さん

1969年生まれ。16歳よりギターを独学で始める。19歳よりフラメンコ・ギターを日野道生に師事。1992年スペインへ留学。マドリッド、セビリアにおいて、地元のアーティストと広く交流。その後アリカンテにわたり、「Raices gitanas」というフラメンコ・グループに参加。キャリアに裏付けされたレベルの高いリズム感、技術力に定評があり、多くのアーティストの信頼感を得ている。現在、ライブ活動、企業イベント舞台等で幅広く活動中。



申込・問合せ先 日高町文化協会日高支部事務局 高橋 健(自宅01457⑥3630、携帯09075168196)

主催 日高町文化協会日高支部・後援 日高町 日高町教育委員会

山菜採りの事故防止について

秋の山菜採りのシーズンを迎えました。

毎年、山菜採りによる事故が発生していますが、その原因の多くは、つい採ることに夢中になり、方向を見失うケースです。

いったん事故が起きますと、地元の人たちにも多大な迷惑をかけることとなります。

遭難などの事故を未然に防ぐため、無理な行動を控え、一人ひとりが十分に気をつけて、山菜採りを楽しみましょう。

安全のために、次のことに十分注意しましょう。

- 行き先、帰宅予定時間などを、必ず家族や知人に知らせておきましょう。
- 単独で入山することはできるだけ避けましょう。
- 事前に目的地の天候を確認しましょう。天候の急変にも対応できるよう雨具、防寒具などの準備も忘れずに。
- 道に迷ったときは、むやみに歩き回することは危険です。体力の消耗を抑えるなど、落ち着いて慎重な行動をとりましょう。また、通信手段(携帯電話、無線機等)や、笛、ラジオ、非常食等を携行するよう心がけましょう。
- 自然を大切にすることやゴミの持ち帰りなど、基本的なマナーを守りましょう。

【お問い合わせ】

北海道環境生活部くらし安全局文化・スポーツ課

電 話 0 1 1 - 2 0 4 - 5 2 0 9

F A X 0 1 1 - 2 3 2 - 8 6 9 5

労働災害の防止について

労働者の皆様の安全と健康を確保することは、社会生活を営むうえで最も重要な課題です。

事業者の皆様は、労働安全衛生の関係法令を遵守することはもとより、積極的に労働者の安全と健康の確保に努めなければなりません。

しかしながら、生産活動を優先するあまり、労働者の安全と健康の確保が軽視されていないでしょうか。

本道では、平成26年に労働災害によって65名の方が亡くなっています。

今一度、作業における安全を確認するなど、労働災害防止に向けた一層の努力が求められています。

『労働災害は、あってはならないもの』

『仕事では 死なない 死なせない』

家族が、働く人同士が、「安全でね」と声を掛け合い安全意識を確認し、労働災害・交通事故の大幅な減少を目指して、一丸となって取り組みましょう。

【お問い合わせ】

北海道経済部労働政策局雇用労政課就業環境グループ

電 話 0 1 1 - 2 0 4 - 5 3 5 4

U R L <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/roudouanzenneiseitop.htm>